

フランス AREVA 社との技術者の交流 所期の目標を達成して第 1 ステップを終了

当社は、福島復興に貢献するという方針のもと、フランスの AREVA 社と技術協力関係をより一層強化しています。

その一環で、2013 年 1 月に締結した技術者交流協定に基づき、千葉県柏市の技術開発センターに AREVA 社より 3 名の技術者が 1 月 15 日より 3 月末まで派遣され、技術交流を行ってきましたが、このたび所期の目標を達成して、第 1 ステップを終了しました。

AREVA 社はフランス原子力庁よりマルクール地区の原子力施設の運営を任されており、今回派遣の技術者は現場作業や放射線管理の責任者などのキーパーソンです。

3 名の技術者より、技術開発センターの所員全員を対象に 9 回にわたってセミナーが開催されました。セミナーでは、マルクールの核施設での豊富な工事実績やノウハウの一端が実例を中心に紹介され、活発な質疑応答が行われました。

また、当センターが現在進めている技術開発のなかで直面している諸課題についても、テーマごとに技術者同士で活発な議論を行い、技術情報交流を適宜行いました。

さらに 2 月 26 日の第 21 回「アトックス技術発表会」では、短期間の仕事で感じたいくつかの違いを踏まえて、廃炉作業を計画・実施する際の課題の説明と技術提案が『アトックス技術への提案』と題して、5 分野に分けて行われました。それらの課題を解決していくことは、これから両社が協力し斬新なソリューションの提案をするうえで、非常に大事であるとのことでした。

現在、当社では、AREVA 社の廃止措置工事をはじめとする様々な優れた技術や考え方を習得するため、当センターの技術者をフランスに派遣する計画を進めています。



フランスAREVA社の技術者と技術開発センター所員(2013.3.29)